

## 5. 協定、顕彰

### 5.1 学術交流協定

大学間学術交流協定締結一覧（平成30年3月31日現在）

相手国	機関名	締結年月日	関係部局
チェコ	チェコ工科大学プラハ校	平成28年5月9日	サイバーサイエンスセンター、 医学系研究科、医工学研究科

### 5.2 協力協定

協力協定締結一覧（平成30年3月31日現在）

海外

相手国	機関名	締結年月日	協定名
ドイツ	シュトゥットガルト大学 高性能計算センター	平成21年4月1日	研究協定
ドイツ	ドイツ気象庁	平成21年6月23日	共同研究に係る包括協定
ドイツ	ジーゲン大学 情報メディア技術センター	平成26年3月26日	研究協定

国内

機関名	締結年月日	協定名
理化学研究所	平成21年4月14日	連携・協力に関する協定
東北六高専 (八戸、一関、仙台、秋田、鶴岡、福島)	平成23年4月1日	学術交流に関する協定

## 5.3 顕彰

### サイバーサイエンスセンター顕彰

サイバーサイエンスセンターを利用し顕著な貢献があった方や、長年にわたり本センターの運営に貢献した方などに対する顕彰制度を設けており、平成 29 年度は、本学の岩崎俊樹教授に功労賞を授与しました。

岩崎教授は、平成 14 年度から継続的に本センターと共同研究を実施するなど、シミュレーション技術の高度化に取り組まれており、高度利用技術に関する研究開発において多くの成果を生み出されました。そこで得られた知見は、本センターの大規模科学計算システムの設計に活かされ、同システムの高度化に多大な貢献をされております。また、本センターで導入したスーパーコンピュータシステムの仕様策定委員長をはじめ、各種委員として長年センター運営に多大な貢献をされてきました。

全国共同利用・共同研究拠点である本センターにとって、大規模科学計算システムの潜在能力を最大限に引き出すための高度利用技術に関する研究開発、利用環境の整備、さらにそこから得られた知見を基に次期システムの設計を行うことは極めて重要であり、これらを円滑に推進するためには、大規模科学計算システムを先端科学分野の研究に実際に活用している研究者とシステム設計者であるサイバーサイエンスセンター研究者との協同が必要不可欠です。

表彰式は、平成 30 年 3 月 23 日（金）本センターで開催されていた第 27 回 Workshop on Sustained Simulation Performance の中で行われ、小林広明センター長特別補佐から岩崎教授へ表彰状が手渡されました。また表彰式の後、「Past, present and future of typhoon forecast」と題した受賞記念講演が行われました。

